

中央図書館(全体に関わること含む)

柱	R5年度の重点取り組み予定・計画 【(そ)図書館そだて会議、【協】図書館協議会での意見・アイデア】	進捗状況(年度途中)	年度未まとめ (やってみてどうだったか、来年度以降どうしていくか)	完了/ 継続
1	<p>☆新規 図書館ホームページを分かり易く、編集しやすくする 市民が図書館の役割や使い方を知り、使いこなし、自分のものと感じられるようなプログラム(司書のお仕事体験)の実施。</p> <p>■継続 ブックのんまにわ巡回先の定期的な見直し。巡回目的の見直しを含む。【そ】</p>	<p>・11月の図書館システム更新にあわせて図書館ホームページのリニューアルを行う。3月に公開予定。</p> <p>・中学生以上の人を対象とした「司書のお仕事体験」を2回開催した。日にちを決めて実施するほか希望があれば随時実施ともしている。</p> <p>・BMの巡回先等を見直した。 北房「なかつい陣屋」を廃止し「旧阿口小学校」への巡回時間を変更(R6.1～) 落合「UEDA VILLEGE」を廃止し「鹿田公民館」に変更(R5.7～) 森山湯原「湯原健康増進センター」を廃止し「湯原みらいづくりセンター」に変更(R5.7～) 勝山「城北コミュニティセンター」への巡回時間を変更(R6.1～) このほか、従来行ってこなかったBMでの団体貸出を開始した。</p>	<p>・「司書のお仕事体験」：参加者には好評。問い合わせもあるため来年度も実施する。</p> <p>・BMの巡回先や巡回時間を見直したことにより、利用者数と貸出数が増加した。今後は、大人に連れてきてもらわなければ図書館を利用できない子どもが通う施設にも巡回できるように運行基準を見直していく。</p>	
2	<p>※新規利用者層の開拓 ☆新規 「対面朗読室」を手作り部屋・メイカースペースとして開放 ☆新規 図書館職員による乳幼児向けのおはなし会の実施【そ】 ☆新規 勝山高校や勝山中学校の図書委員会と一緒にティーンズコーナーの運営を行うことを検討【協】</p>	<p>・月2回「対面朗読室」を開放しての「布絵本づくり」のほか、クラフトのイベントを実施。図書館資料を見て作った市民の作品を展示する「これ見てもつ展」を開催。</p> <p>・ティーンズコーナー：11月にコーナーを一新。小説の文庫と単行本を混排。「でーれーBOOKS」(岡山の高校司書のおすすめ本)展示。12月に勝山高校図書館へ訪問、学校司書と司書教諭と情報交換。</p>	<p>・「布絵本づくり」：参加者は少ないが、本を読む以外の図書館の利用方法の一つとして継続していく。「対面朗読室」は奥まった場所であり目立たないので、常時開放するのではなく様々な目的で柔軟に活用していく。防音設備が整っておらず「対面朗読サービス」には適さない部屋であるので、部屋の名称変更も検討する。対面朗読サービスには別室を用意することが可能。</p> <p>・勝山高校の図書委員のおすすめ本の展示を計画。高校生対象にPOPの書き方講座なども実施を検討。勝山中学校の図書委員にも声をかけて中学校と高校のコラボコーナーを作っていくことも検討。</p>	
3	<p>■継続 「真庭市立図書館附属みんなの校歌研究室」の活動 ☆新規 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」と判例データベースの利用促進 岡山県立博物館との協働事業</p>	<p>・市内のエリアごとに学校の情報を記した地図を地区館に持参して、利用者から校歌の話をお聞きしていった。閉校になった学校も含めて全95校中24校の校歌や応援歌、体操歌を収集している(2024年1月現在)。3月2日に今年度の成果をお披露目するイベントを実施予定。</p> <p>・7月に岡山県立博物館と共催し、博物館と図書館をオンラインで結び「展示解説会 美作勝山の実態に迫る」を開催した。28人参加いただき、今後もこのようなイベントがあれば参加したいという意見をいただいた。</p>	<p>・1月末現在で26校36曲(応援歌、体操歌含む)を収集・公開している。同じ学校でも統合した際に新しい校歌を制定していることがあり、収集するにつれて当初の想定数を超えて歌が存在していたことが分かってきている。</p> <p>・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスは、2月半ばからサイトがリニューアルするので、活用を広報したい。(利用：R4年度3人、R5年度1人)</p>	
4	<p>☆新規 市内で学ぶ「学生」(通信教育などで学ぶ人たち)を応援する取り組みを行う【そ】 放送大学岡山学習センターとの連携事業</p>	<p>・5月に「通信で勉強している学生・社会人のみなさん教えてください」というミーティングを行い、ニーズ探った。オンライン参加1人を含む8人が参加された。</p> <p>・1月に放送大学岡山学習センターとの共催で放送大学公開講座「乳幼児の育ちを支える」を開催。</p>	<p>・5月のミーティング以降、取り組みが進まなかった。どのような形であれば実施できるか再検討する。</p> <p>・放送大学岡山学習センターの公開講座は12人参加があり好評だった。来年度も引き続き連携講座を行い、市民の学びの環境を整えていく。</p>	
5	<p>■継続 市民や団体、事業所、会社などつなぐと一緒に図書館イベントやプログラムを開催【そ】 ☆新規 飲食スペースでのカフェ出店検討【そ】 ☆新規 飲食スペースで定期的に「ゲーム(カードゲームやボードゲーム)研究会」(仮)を実施 中央図書館開館5周年記念イベントの開催</p>	<p>・上映会などのイベント時に飲食スペースにカフェや飲食店に出店してもらった。</p> <p>・毎月1回土曜日に「コタツのゲーム研究会」を開始した。</p> <p>・5月に市内で図書館と同じく創立5周年を迎える会社や商店との合同イベントを開催した。7月には「音のとしよかん」、児童文学作家杉山亮さんによるトークライブ、「100年前の植物標本展」を開催した。</p> <p>・大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻地域アートゼミによる企画提案によるイベント実施。</p>	<p>・イベント時のカフェ出店は毎回好評であり、カフェがほしいという声は常にある。「図書館そだて会議」のために実施したアンケート調査でも同様。市内のカフェに打診したところ前向きな回答を得ているので実施に向けて話を進める。</p> <p>・5周年記念の各種イベントのほかに、飲食スペースや正面玄関前スペースなどを使って気軽に参加できるように催しを行うことができた。図書館主催のものだけでなく、市民有志の実行委員会や「まにわ日本語教室」などの団体からの発案で共催したイベントも開催することができた。</p>	